

《Twitter等での不適切な投稿による被害について》

北海道教育委員会

ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト

「バイトテロ」と「一般客テロ」

「バイトテロ」という言葉をご存知でしょうか？これは、最近使われるようになった言葉で、主に飲食店のアルバイト店員などが、食べ物で遊んでいるところや冷蔵庫に入るなど不衛生な行為をしている写真をTwitterなどに投稿し、それがネット上に拡散することで、店側が被害を受けてしまうことを言います。発端は、コンビニ店員が冷凍ケースに入っているところを撮った写真をFacebookに投稿し、それが2ちゃんねるで晒されて炎上した事件で、それ以降、同じような事案が次々に起こりました。一方、「一般客テロ」とは、客が店内での不適切な行為の写真を投稿し、店側が被害を受けてしまうことを言います。

《実例》 左が客による投稿、右が店員による投稿です



コンビニの冷凍ケースに入る



レジ用の機器を股間に当てる

このようなことが起こると店側は店舗の清掃や消毒のために休業したり、謝罪文を出すことにもなります。中にはそのまま閉店を余儀なくされた店もあり、投稿した本人へ損害賠償請求を検討しているというケースもあります。

実例の左側の写真の少年とこれを撮影していた少年を含む3名は、冷凍ケースに入っていた商品を破棄するなどの損害を被ったとして店側から出された被害届によって、威力業務妨害の疑いで書類送検されました。本人たちとしてはちょっとした悪ふざけのつもりでも、自身の将来に大きな影響を及ぼす結果となっています。

なぜこのようなことが起こってしまうのか？

なぜ上記のような事態が起こってしまうのか。いくつかの原因が考えられます。

- ✓ スマートフォンが普及したことで、どこでも写真撮影ができ、それをそのままインターネットに投稿することができるようになった
- ✓ TwitterやFacebookといったサービスがコミュニケーション手段として広がったことで、何かあればすぐに写真を撮ってみんなで共有するという人が増えた
- ✓ インターネットに投稿したものは世界中の人に公開されているのだという意識が薄いので、身内の感覚で何でも投稿してしまう
- ✓ 逆に、たくさんの人に見られたい、目立ちたいという欲求から過剰な投稿をしてしまう

投稿が炎上してしまい、ネット上に炎上の元となった投稿や個人情報広がってしまうと、その全てを削除するというのは、とても難しい状況になります。そのような事態を未然に防ぐためには、以下の「インターネットの4つの常識」を子どもたちに理解させることが大切です。

1. インターネット上への書き込みは、取り消すことができない
2. インターネットは、全世界に公開されている
3. インターネットは、匿名ではない
4. 自分の将来に影響を与えかねない